



# 支部だより

第 98 号

編集・発行

日本気象学会中部支部

〒464-0039

名古屋市千種区日和町2-18

名古屋地方気象台内

電話 052-751-5577

2025.07.30

## 目次

|                                     |    |
|-------------------------------------|----|
| ・ 2025 年度（令和 7 年度）の始まりにあたって .....   | 1  |
| ・ 中部支部第 26 期役員の補充 .....             | 2  |
| ・ 2025 年度（令和 7 年度）中部支部総会のお知らせ ..... | 3  |
| ・ 2024 年度（令和 6 年度）中部支部研究会の報告 .....  | 4  |
| ・ 第 27 回公開気象講座の報告 .....             | 10 |
| ・ 気象サイエンスカフェの開催報告 .....             | 11 |
| ・ 事務局からのお知らせ .....                  | 12 |

## ■2025 年度（令和 7 年度）の始まりにあたって

日本気象学会中部支部長 吉松 和義

このたび、中部支部長を拝命いたしました、名古屋地方気象台の吉松です。微力ではありますが、中部支部のさらなる発展に尽力してまいりたい所存ですので、何卒よろしくお願い申し上げます。

さて、昨年は年間を通して高温が続き、日本の年平均気温は、統計を開始した 1898 年以降で最も高くなりました。この要因としては、地球温暖化による長期的な気温の上昇に加え、三冬連続で発生したラニーニャ現象により西太平洋の海洋内部に熱が蓄積され、その後、2023 年春から 2024 年春にかけて続いたエルニーニョ現象によって、その熱が赤道太平洋全体の海面に広がったことなどが挙げられています。

今後は、地球温暖化の進行により、このような高温が発生する頻度の増加が懸念されています。実際、令和 7 年 3 月に公表された「日本の気候変動 2025」では、日本全体での猛暑日の年間日数は、将来の世界平均気温が工業化以前と比べて 2℃上昇するシナリオで約 2.9 日、4℃上昇するシナリオでは約 17.5 日増加すると予測されています。気温の上昇に加え、雨の降り方も変化するとされており、4℃上昇シナリオでは、1 時間に 50mm 以上の雨が降る回数が年間で約 3 倍になるとの見通しも示されています。

こうした中、近年は日本各地で大雨が頻発しており、その背景の一つとして地球温暖化の影響が指摘されるようになってきました。たとえば、2024 年 7 月下旬に北日本で発生した大雨や、2023 年 6 月から 7 月中旬にかけての大雨についても、地球温暖化が影響を及ぼした可能性があると考えられています。これらの評価は、イベント・アトリビューションと呼ばれる研究手法によるものであり、個別の事象が地球温暖化とどのように関係しているかについて、科学的に答えることが可能になってきました。

また、毎年のように全国各地で大雨特別警報が発表され、災害が発生しています。こうした大雨災害の一因となっている線状降水帯については、気象庁のみならず、大学や

研究機関とも連携した集中観測やメカニズム解明の研究が進められており、気象学会としての一層の貢献が期待されているところです。

中部支部では、支部研究会を開催して研究成果の発表・交流の場を提供するほか、公開講座やサイエンスカフェを通じて、社会の要請に応じた活動も積極的に展開してまいります。

会員の皆様の学会活動が円滑に進むよう、本部や他支部とも連携を図りながら、各種事業を推進していきたいと考えております。今後とも、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

## ■中部支部第 26 期役員の補充

任期途中の役員の転出等に伴い、日本気象学会中部支部役員選挙細則第 4 条の規定により、藤田司東海地区常任理事・支部長の後任役員として吉松和義会員を常任理事・支部長に、千葉正紀幹事の後任役員として中村卓也会員を幹事として補充しました。任期はいずれも 2026 年 6 月 30 日までです。

| 新                        | 旧               |
|--------------------------|-----------------|
| 東海地区常任理事 吉松 和義（名古屋地方気象台） | 藤田 司（名古屋地方気象台）  |
| 幹事 中村 卓也（名古屋地方気象台）       | 千葉 正紀（名古屋地方気象台） |

補充後の役員は以下のとおりです。

|              |       |                |
|--------------|-------|----------------|
| 東海地区常任理事・支部長 | 吉松 和義 | （名古屋地方気象台）     |
| 東海地区常任理事     | 増永 浩彦 | （名古屋大学）        |
| 東海地区常任理事     | 立花 義裕 | （三重大学）         |
| 東海地区常任理事     | 田口 正和 | （愛知教育大学）       |
| 東海地区常任理事     | 成田 正巳 | （中部航空地方気象台）    |
| 東海地区常任理事     | 槇野 泰夫 | （日本気象予報士会東海支部） |
| 北陸地区理事       | 安永 数明 | （富山大学）         |
| 長野・静岡地区理事    | 轡田 邦夫 | （東海大学）         |
| 会計監査         | 吉田 真純 | （日本気象協会中部支社）   |
| 幹事           | 中村 卓也 | （名古屋地方気象台）     |
| 幹事           | 矢頭 秀幸 | （名古屋地方気象台）     |
| 幹事           | 大畑 祥  | （名古屋大学）        |

## ■2025 年度（令和 7 年度）中部支部総会のお知らせ

1. 日時：2025 年 8 月 26 日（火）13 時 30 分～15 時 00 分

2. 場所：名古屋地方気象台会議室

3. 総会次第

- |          |           |          |               |
|----------|-----------|----------|---------------|
| (1) 開会の辞 | (2) 支部長挨拶 | (3) 議長選出 | (4) 出席者・委任状報告 |
| (5) 議案審議 | (6) 議長解任  | (7) 閉会の辞 |               |

ご欠席の場合、電子による参加票、または、同封の総会参加票にご記入・署名の上  
ご返送をお願い致します。電子による参加票は以下のフォームからお願いします（締め  
切り 2025 年 8 月 25 日 24 時）。

<https://forms.office.com/r/w71VdhLdF2>

議案の番号は総会参加票に示された番号です。議案の詳細を以下に示します。

## 総会議案

### 議案（1）2024 年度（令和 6 年度）中部支部事業報告

- 6 月 13 日 支部常任理事会を開催しました。第 25 期役員補充、総会議案の 2023 年度事業報告・会計監査報告、および 2024 年度事業計画・予算案を審議しました。
- 6 月 22 日 第 26 期支部役員選挙開票
- 6 月 30 日 支部だより第 96 号を発行しました。支部長挨拶、第 25 期役員補充、2024 年度支部総会案内と議案、中部支部研究会の報告、気象サイエンスカフェの開催報告を掲載しました。
- 7 月 29 日 支部理事会および支部総会を開催しました。支部理事会では、2023 年度の事業報告、会計監査報告および 2024 年度の事業計画案、予算案について承認されました。支部総会では、各議案が賛成多数で可決されました。
- 11 月 3 日 第 27 回気象サイエンスカフェ in 名古屋を開催しました。早川宏明氏（名古屋地方気象台 観測予報管理官）を講師に招き、「台風について ～台風のタイプと解析～」と題して、ご講演いただきました（参加者 43 名）。
- 11 月 15 日 支部だより第 97 号を発行しました。2024 年度支部研究会のお知らせ、気象サイエンスカフェのお知らせ、第 27 回公開気象講座のお知らせ、2024 年度支部総会報告を掲載しました。
- 11 月 24 日 2024 年度中部支部研究会を名古屋大学にてオンライン併用で開催しました  
～25 日 （講演題数 25 題、参加者 65 名）。
- 1 月 19 日 第 27 回公開気象講座「気象衛星ひまわりと地球観測の最前線」を名古屋市科学館にて開催しました。講師に勝山健一氏（気象庁）、久保田拓志氏（宇宙航空研究開発機構）を招き、「気象衛星ひまわりの役割と次期気象衛星について」と「地球観測衛星による雲・降水観測の最前線」と題して、ご講演いただきました（参加者 128 名）。
- 2 月 16 日 第 28 回気象サイエンスカフェ in 名古屋を開催しました。栗澤徹氏（西穂山荘支配人）を講師に招き、「雲上の世界と山岳気象」と題して、ご講演いただきました（参加者 43 名）。

## 議案（2）2024 年度（令和 6 年度）中部支部会計報告

2024年度 中部支部予算と実行額（2025年3月末日現在）

（2024年4月1日～2025年3月31日）

単位：円

|                              | 予算額     | 実行額     | 残額      | 備考          |
|------------------------------|---------|---------|---------|-------------|
| <b>I 収入の部</b>                |         |         |         |             |
| 事業活動収入                       |         |         |         |             |
| 本部交付金                        | 850,000 | 850,000 | 0       |             |
| 公開講座補助金                      | 0       | 0       | 0       |             |
| 普及啓発活動への助成                   | 0       | 0       | 0       |             |
| 事業収入                         |         |         |         |             |
| 公開講座参加費<br>（テキスト代含む）         | 0       | 0       | 0       |             |
| 雑収入                          |         |         |         |             |
| 預金利子                         | 5       | 380     | -375    |             |
| その他                          | 0       | 0       |         |             |
| 事業活動収入計(1)                   | 850,005 | 850,380 | -375    |             |
| <b>II 支出の部</b>               |         |         |         |             |
| 事業活動支出<br>（事業費支出）            |         |         |         |             |
| 支部日より                        | 85,000  | 27,440  | 57,560  |             |
| 印刷費                          | 40,000  | 27,440  | 12,560  |             |
| 編集費                          | 0       | 0       | 0       |             |
| 発送費                          | 45,000  | 0       | 45,000  |             |
| ホームページ運営費                    | 0       | 0       | 0       |             |
| サーバー借料                       | 0       | 0       | 0       |             |
| 公開講座開催費                      | 200,000 | 154,450 | 45,550  |             |
| 会場費                          | 0       | 0       | 0       |             |
| 運営費(印刷費含む)                   | 100,000 | 84,940  | 15,060  |             |
| 講師謝金・旅費                      | 100,000 | 69,510  | 30,490  |             |
| 支部研究会開催費                     | 280,000 | 191,740 | 88,260  |             |
| 会場費                          | 30,000  | 0       | 30,000  |             |
| 運営費                          | 50,000  | 4,000   | 46,000  |             |
| 要旨集印刷費                       | 0       | 0       | 0       |             |
| 参加旅費                         | 200,000 | 187,740 | 12,260  |             |
| その他事業費                       | 0       | 0       | 0       |             |
| サイエンスカフェ（3回開催）               | 69,000  | 32,573  | 36,427  |             |
| 1) 東海地区内(2回)                 | 36,000  | 32,573  | 3,427   |             |
| チラシ・資料印刷                     | 6,000   | 9,258   | -3,258  |             |
| 講師謝金                         | 20,000  | 10,275  | 9,725   | 源泉徴収含む      |
| 講師交通費                        | 10,000  | 13,040  | -3,040  |             |
| 2) 中部地区内（1回）                 | 33,000  | 0       | 33,000  | 開催なし        |
| チラシ・資料印刷                     | 3,000   | 0       | 3,000   |             |
| 講師謝金                         | 10,000  | 0       | 10,000  |             |
| 講師交通費                        | 20,000  | 0       | 20,000  |             |
| （管理費支出）                      |         |         |         |             |
| 総会・理事会費                      | 48,000  | 5,200   | 42,800  |             |
| 総会資料印刷費(往復はがき)               | 30,000  | 5,200   | 24,800  |             |
| 理事会開催費                       | 3,000   | 0       | 3,000   |             |
| 理事会交通費                       | 15,000  | 0       | 15,000  |             |
| 秋季大会実行委員会交通費（2回実施）           | 0       | 0       | 0       |             |
| 役員選挙費                        | 50,000  | 0       | 50,000  |             |
| 選挙公報・投票用紙印刷・発送費              | 50,000  | 0       | 50,000  |             |
| 選挙管理委員会費                     | 0       | 0       | 0       |             |
| 事務費                          | 36,400  | 37,101  | -701    |             |
| 通信運搬費                        | 31,400  | 28,372  | 3,028   | zoomライセンス含む |
| 消耗品費                         | 5,000   | 8,729   | -3,729  |             |
| 労務費                          | 0       | 0       | 0       |             |
| その他支出 設備費                    | 0       | 0       | 0       |             |
| 事業活動支出計(2)                   | 768,400 | 448,504 | 319,896 |             |
| <b>III 予備費</b>               |         |         |         |             |
| 予備費支出計(3)                    | 82,257  | 0       | 82,257  |             |
| 本部交付金留置き                     | 0       | 0       | 0       |             |
| 本部交付金追加(4)                   | 0       | 0       | 0       |             |
| 当期収支差額 (A) = (1)+(4)-(2)-(3) | -652    | 401,876 |         |             |
| 前期繰越収支差額 (B)                 | 652     | 652     |         |             |
| 次期繰越収支差額 (A)+(B)             | 0       | 402,528 |         |             |

### 議案 (3) 2024 年度 (令和 6 年度) 中部支部会計監査報告

2024 年度中部支部会計報告について、吉田会計監査より適正に処理されている旨の報告がありました。

2024 年度 (令和 6 年度) の日本気象学会中部支部における  
会計監査を行った結果、適正に処理されていたことを認めます。

令和 7 年 3 月 18 日

会計監査 吉田 真純 

### 議案 (4) 2025 年度 (令和 7 年度) 中部支部事業計画案

#### (1) 支部理事会および支部総会

- ・ 7 月 10 日 第 1 回支部常任理事会  
第 26 期役員補充、2024 年度事業報告、会計報告、会計監査報告  
2025 年度事業計画案および予算案審議  
公開気象講座、支部研究会開催要領検討
- ・ 8 月 26 日 第 1 回支部理事会  
2024 年度事業報告、会計報告、会計監査報告  
2025 年度事業計画案および予算案審議  
公開気象講座、支部研究会開催要領検討  
支部だより第 98 号に議案掲載
- ・ 8 月 26 日 支部総会  
上記支部理事会と同様

#### (2) 中部支部研究会

- ・ 11 月下旬 2025 年度支部研究会 開催地未定：支部理事会により審議

#### (3) 公開気象講座および気象サイエンスカフェ

- ・ 第 28 回公開気象講座  
開催時期及び開催地未定：支部理事会により審議
- ・ 気象サイエンスカフェ  
名古屋 1 回、他地域 1 回  
テーマ、日程および名古屋以外の開催地未定：支部理事会により審議

#### (4) 中部支部だより

- ・ 7 月 30 日 支部だより第 98 号発行  
中部支部総会議案  
中部支部研究会開催報告  
気象サイエンスカフェ開催報告
- ・ 11 月上旬 支部だより第 99 号発行  
中部支部総会報告  
中部支部研究会プログラムなど

# 議案（5）2025 年度（令和 7 年度）中部支部予算案

2025年度（令和7年度） 中部支部収支予算（案）  
（2025年4月1日～2026年3月31日）

単位：円

|                                   | 予算額      | 前年度予算額  | 増減       | 備考          |
|-----------------------------------|----------|---------|----------|-------------|
| I 収入の部                            |          |         |          |             |
| 事業活動収入                            |          |         |          |             |
| 本部交付金                             | 400,000  | 850,000 | -450,000 |             |
| 公開講座補助金                           | 0        | 0       | 0        |             |
| 普及啓発活動への助成                        | 0        | 0       | 0        |             |
| 事業収入                              |          |         |          |             |
| 公開講座参加費<br>(テキスト代含む)              | 0        | 0       | 0        |             |
| 雑収入                               |          |         |          |             |
| 預金利子                              | 300      | 5       | 295      |             |
| その他                               | 0        | 0       | 0        |             |
| 事業活動収入計(1)                        | 400,300  | 850,005 | -449,705 |             |
| II 支出の部                           |          |         |          |             |
| 事業活動支出<br>(事業費支出)                 |          |         |          |             |
| 支部だより                             | 35,000   | 85,000  | -50,000  |             |
| 印刷費                               | 30,000   | 40,000  | -10,000  |             |
| 編集費                               | 0        | 0       | 0        |             |
| 発送費                               | 5,000    | 45,000  | -40,000  |             |
| ホームページ運営費                         | 0        | 0       | 0        |             |
| サーバー借料                            | 0        | 0       | 0        |             |
| 公開講座開催費                           | 200,000  | 200,000 | 0        |             |
| 会場費                               | 0        | 0       | 0        |             |
| 運営費(印刷費含む)                        | 100,000  | 100,000 | 0        |             |
| 講師謝金・旅費                           | 100,000  | 100,000 | 0        |             |
| 支部研究会開催費                          | 280,000  | 280,000 | 0        |             |
| 会場費                               | 30,000   | 30,000  | 0        |             |
| 運営費                               | 50,000   | 50,000  | 0        |             |
| 要旨集印刷費                            | 0        | 0       | 0        |             |
| 参加旅費                              | 200,000  | 200,000 | 0        |             |
| その他事業費                            | 0        | 0       | 0        |             |
| サイエンスカフェ(2回開催)                    | 56,000   | 69,000  | -13,000  |             |
| 1) 東海地区内(1回)                      | 23,000   | 36,000  | -13,000  |             |
| 会場費                               | 0        | 0       | 0        |             |
| チラシ・資料印刷                          | 3,000    | 6,000   | -3,000   |             |
| 講師謝金                              | 10,000   | 20,000  | -10,000  |             |
| 講師交通費                             | 10,000   | 10,000  | 0        |             |
| 2) 中部地区内(1回)                      | 33,000   | 33,000  | 0        |             |
| 会場費                               | 0        | 0       | 0        |             |
| チラシ・資料印刷                          | 3,000    | 3,000   | 0        |             |
| 講師謝金                              | 10,000   | 10,000  | 0        |             |
| 講師交通費                             | 20,000   | 20,000  | 0        |             |
| (管理費支出)                           |          |         |          |             |
| 総会・理事会費                           | 20,000   | 48,000  | -28,000  |             |
| 総会資料印刷費(往復はがき)                    | 10,000   | 30,000  | -20,000  |             |
| 理事会開催費                            | 0        | 3,000   | -3,000   |             |
| 理事会交通費                            | 10,000   | 15,000  | -5,000   |             |
| 秋季大会実行委員会交通費                      | 0        | 0       | 0        |             |
| 役員選挙費                             | 0        | 50,000  | -50,000  |             |
| 選挙公報・投票用紙印刷・発送費                   | 0        | 50,000  | -50,000  |             |
| 選挙管理委員会費                          | 0        | 0       | 0        |             |
| 事務費                               | 40,000   | 36,400  | 3,600    |             |
| 通信運搬費                             | 30,000   | 31,400  | -1,400   | zoomライセンス含む |
| 消耗品費                              | 10,000   | 5,000   | 5,000    |             |
| 労務費                               | 0        | 0       | 0        |             |
| その他支出 設備費                         | 0        | 0       | 0        |             |
| 事業活動支出計(2)                        | 631,000  | 768,400 | -137,400 |             |
| III 予備費                           |          |         |          |             |
| 予備費支出計(3)                         | 171,828  | 82,257  | 89,571   |             |
| 本部交付金留置き                          | 0        | 0       | 0        |             |
| 本部交付金追加(4)                        | 0        | 0       | 0        |             |
| 当期収支差額(A) = (1) + (4) - (2) - (3) | -402,528 | -652    |          |             |
| 前期繰越収支差額(B)                       | 402,528  | 652     |          |             |
| 次期繰越収支差額(A) + (B)                 | 0        | 0       |          |             |



## ■2024 年度（令和 6 年度）中部支部研究会の報告

支部研究会は、2024 年 11 月 24 日（日）～25 日（月）に、名古屋大学にて、オンラインでの発表や聴講も可能としたハイブリット開催としました。

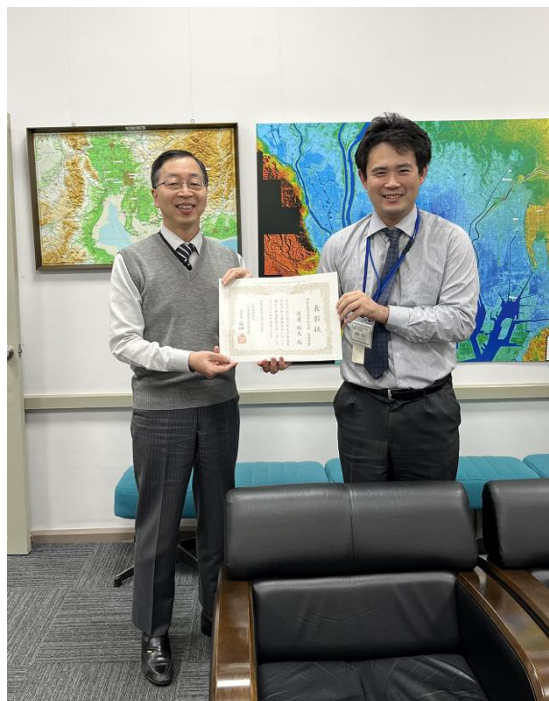


研究会では、事例解析、データ解析、観測技術、また深層学習や数値予報モデルなども用いて、台風や豪雨、収束線、突風、地球温暖化など社会的な関心が強いテーマに関わる講演や中部支部管内で関心の強いテーマの講演があって、活発に議論されました。

令和6年度の日本気象学会中部支部賞は、最優秀賞として渡邊翔太会員（名古屋地方気象台）「深層学習による愛知県大雨発生ガイダンスの開発」、優秀賞として吉川契子会員（静岡城北高校）「高等学校「地学基礎」教科書における「地球温暖化」取り扱いの課題」、馬渕慎也会員（富山県立大学、共著他2名）「低高度におけるドローンを用いた降水粒子の初期観測」、岡田陸会員（名古屋大学、共著他3名）「偏波レーダシミュレータを用いた氷相の雲微物理過程の再検討」に贈呈されました。

### 受賞理由

渡邊翔太さんは、気象台が発表する大雨の早期注意情報の精度向上や大雨発生に対するサブシナリオの構築を支援できるガイダンス作成を目的に、深層学習（ディープラーニング）を用いた大雨予測手法の開発を行った。開発には訓練データとして愛知県周辺の気象庁MSM 初期値 11 年分を用い、前 3 時間積算解析雨量を目的変数として使用した。手法として、画像認識で活用される畳み込みニューラルネットワーク(CNN)を用い、これにモデルの多層化とそれによる勾配消失に対応した ResNet を適用したところ、2024 年暖候期に対して高い補足率を示した。また、これまでのガイダンスが苦手とする高気圧縁辺を回る暖湿気による大雨に対して、本手法の適用により早期注意情報改善の可能性があることを報告した。これまでの手法では十分扱えなかった現象を深層学習により改善できる可能性を示したことは今後の気象庁の業務の改善に寄与することが期待される。



左：藤田支部長 右：渡邊会員

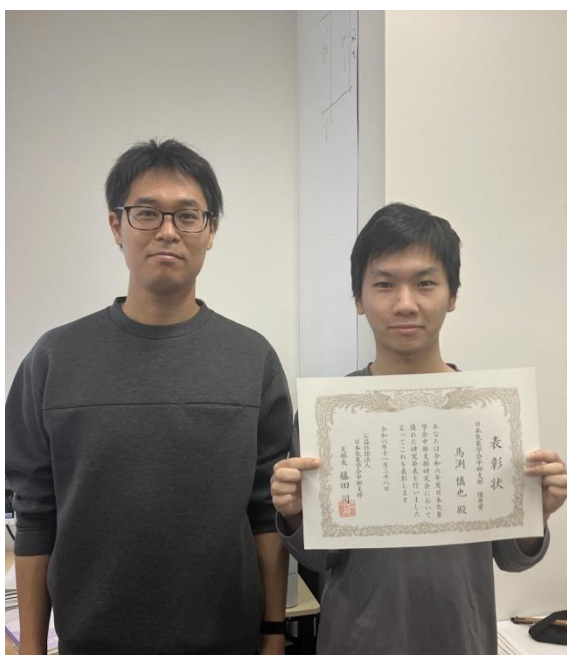
吉川契子さんは地球温暖化に関する科学的研究、企業・行政による対策、一般の生活者



の理解の促進の観点から、高等学校「地学基礎」教科書における地球温暖化の取り扱いを調査し、出版社による教科書の記述にばらつきがあること、改訂年度の都合上海洋熱波など最新の話題が含まれないことを確認した。この点を教育現場で補うためには、報道やインターネットを通して得た研究者の持つ地球温暖化の知見を授業で援用することに加え、地球温暖化、気象災害、海洋温暖化に関連付けた学習が生徒にとって地球温暖化を正に知るために適切であるとしている。高等学校における地学教育、特に地球温暖化のような近年大きく進展している分野を教育上の重要課題と認識し、そのうえで独自の意欲的取り組みによって臨んでいる点は効果的な教育、現代的な問題を理解させるために大きな貢献があると評価する。

馬淵慎也さんらは上空の降水粒子をドローンにより観測する手法(MARSHALL)の開発について報告した。地上でドローンを静止させた状態と地上から 1m 程度の高度で飛行させた状態で降雨強度 1mm/h 以上の事例を対象に観測実験を行い、分析には画像解析手法を適用した。この結果、雨滴粒径分布は、分布曲線の切片が異なるものの、関数形は地上測定と空中測定とで類似することが判明した。また、粒径と落下速度の関係は、粒径が 1～3mm 程度では、Best(1950)の経験式と類似した傾向であることが分かり、今回の手法により自然環境下で観測できる可能性が示された。この結果は、将来の降水粒子レベルの現象理解と解明に貢献することが期待される。

岡田陸さんらは、雲微物理過程の評価・改良を念頭に、雲解像モデルの出力を偏波レーダ観測が与える偏波パラメータに変換する偏波レーダシミュレータ(POLARRIS)を用い、雲氷から雪への変換過程についてシミュレーションと観測を比較した。シミュレーションでは雲氷が設定された最大粒径  $D_{\max}$  を超えると一部が雪に変換されることから、この変換が抑制されるように  $D_{\max}$  を変更して粒径の大きな雲氷の存在を許す実験を行った。



左：吉見会員（指導教員） 右：馬淵会員



左：篠田会員（指導教員） 右：岡田会員

POLARRIS によって混合比や数濃度から偏波間位相差変化率  $K_{dp}$  と反射因子差  $Z_{dr}$  を求めたところ、 $K_{dp}$  には  $D_{max}$  の変化に感度があるが、 $Z_{dr}$  にはないことを示した。シミュレーションと現実の雲微物理過程との整合性は十分確認されていないが、今回の報告はこれを検証する一助となるものであり、今後の雲微物理過程の解明、また雲解像モデルの改良に寄与するものと期待される。

以上、いずれも、今後の発展、また将来的な実用化などにより、気象学の発展や社会・気象教育への貢献となる可能性があるものとして、高く評価できる。

## ■第 27 回公開気象講座の報告

日本気象学会中部支部主催の公開気象講座は、気象学に関する専門的かつ最新の知識を一般の方々に分かりやすく解説することを目的に開催されるもので、今年で 27 回を数えます。今回は「気象衛星ひまわりと気球観測の最前線」をテーマに、2025 年 1 月 19 日に名古屋市科学館で開催しました。



藤田支部長による開会挨拶の後、気象庁情報基盤部気象衛星課 衛星整備計画官の勝山健一氏より「気象衛星ひまわりの役割と次期気象衛星について」と題し、気象庁が 2029 年度の運用開始を目指している次期気象衛星「ひまわり 10 号」の計画についてお話しいただき、宇宙航空研究開発機構 第一宇宙技術部門 地球観測研究センター 研究領域主幹の久

保田拓志氏より「地球観測衛星による雲・降水観測の最前線」と題して、雨や雲の観測を中心に地球観測衛星のお話をいただきました。公開気象講座の参加者は 128 名となり、ほとんどの方が気象学会員ではなく一般の方の参加となりましたが、活発な質疑応答が行われるとともに、終了後のアンケートでも多くの方が、「とても興味深く聞くことができた」、「参考になった」と回答があり大変好評でした。講演者の皆様、ご参加いただいた皆様に、深く感謝申し上げます。

(中部支部事務局)

## ■気象サイエンスカフェの報告

気象サイエンスカフェは、日本気象予報士会との共催イベントです。中部支部では、例年、名古屋市内で2回、名古屋を除く中部支部内で1回の計3回を、対面形式またはオンライン形式で開催しています。

### ◆第28回気象サイエンスカフェ in 名古屋 Zoom

日 時 : 2025年2月16日(日) 午後3時から午後4時30分

場 所 : 名古屋市中区栄三丁目18番1号 ナディアパーク内7th CAFÉ

講 師 : 西穂山荘 支配人 栗澤 徹 氏

テーマ : 雲上の世界と山岳気象

参加者 : 43名

2025年2月16日に日本気象学会中部支部と日本気象予報士会東海支部共催で第28回気象サイエンスカフェ In 名古屋を名古屋市内のナディアパーク7th CAFÉ で開催しました。

今回は、「雲上の世界と山岳気象」というタイトルで、西穂山荘支配人栗澤 徹様をスピーカーにお迎えしました。参加者は学生、会社員、自営業はじめ気象予報士などで43名と会場が満席となる盛況ぶりでした。

お話は最初に「山の天気とは」の内容で、山特有の気象を作り出す要因として、標高の高さによる影響、複雑な地形の影響が大きな役割を果たしているとのお話がありました。

また、山では積乱雲が短時間で発生し、落雷は地上と異なり、上からだけでなく、横からも下からも来ることや、雷の発生をいち早く知るために、AMラジオのノイズを利用していることなども伺いました。

雷に限らず、山で激しい気象の変化を察知するためには、山を登りながら雲の動き、風の方向などに常に注意を払うことが必要であり、特に高い山に登る際は気象の知識は欠かせないものであるというお話でした。

次に、山でみられる現象を貴重な写真で紹介していただきました。

雲海、サンピラー（太陽柱現象）、ブロッケン現象、ダイヤモンドダスト、霧氷、滝雲など地上では目にすることが困難なものを多く紹介していただきました。さらに、ドローンを使った北アルプスを空撮した貴重な映像を見せていただきました。

また、栗澤様が携わっている山岳救助の面からは、山岳遭難は、天気の急変、想定して



いなかった天候の変化等によって発生することが多く、厳冬期は風雪、低温による凍傷、凍死や、突風による転落、大雪による行動不能などが多く発生するため、遭難しないためには十分な準備、気象知識の習得などが必要ということでした。

山岳救助においては、現在はヘリコプター救出が主流であるが気象条件に大きく左右される側面もある。地上からの救助も行われるが、時間的、肉体的な負担が大きいということでした。

このように、冬山の世界は、普段私どもが生活している地上とは全く違う世界であること認識させていただき、そこにはとても美しい景色があることを教えていただきました。

(日本気象予報士会東海支部)

## ■事務局からのお知らせ

### ◆事務局からのお願い

日本気象学会本部および中部支部から各種案内を電子メールにて配信しております。ご案内が届いていらっしゃらない会員の皆様、ご面倒をおかけいたしますが、  
日本気象学会 会員情報変更ページ

<https://www.metsoc.jp/membership-2/update-2>

から最新の電子メールアドレスのご登録をお願いいたします。